

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO₂吸収：固定

三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル（キャンパス緑花・シーダローズ編）

知っていますか？

上浜キャンパスでは、いろんな松かさが拾えます。



シーダローズと種子



シーダローズ
(2026年1月6日撮影)



ヒマラヤスギ
(2026年1月6日撮影)



テードマツ
(2026年6月22日撮影)

■ シーダローズ

上浜キャンパスには、マツ科などの樹木が数多く植樹されていることから、多様な松かさ（松の球果）が拾えます。

ヒマラヤスギ（別名ヒマラヤシシーダ）の松かさはバラの花のような形態をなしていることから、シーダローズと呼ばれ、リースなどのインテリアに活用されることのあるものです。また、三翠園にある北米原産のテードマツの松かさは、約10cmもある大きなサイズのもので、ミニバラのような形態をしているのは、コウヨウザンの球果です。

松かさをインテリアとして活用することは、炭素固定に該当します。

晩秋から冬にかけて、球果から種子が放出した後に落下することが多いのですが、季節を問わず強風の際に枝が揺れて落下することもありますので、探してみてください※。

■ キャンパス緑花

人と自然の調和・共生をめざし、地域に根差した緑あふれる環境先進大学としてのキャンパスづくりを推進しています。

コウヨウザン
(2026年7月9日撮影)

※落下している場合に限りです。



※写真上の番号は、樹木の位置



三重大学マスコットキャラクター
ミールド

2050カーボンニュートラルに向けた取組計画

国立大学法人 三重大学
地球環境センター
施設部 2024年11月

